

鹿県児童クラブ連絡会 第9回総会記念講演会永松範子講演会 アンケート

- ・市町村名 薩摩川内市(10) 鹿屋市(4) 霧島市(27) 日置市(5) 始良市(7) 指宿市(2)
いちき串木野市(4) 肝付町(1) 志布志市(2) 曾於市(2) 出水市(4)
垂水市(2) 南九州市(1) 揖宿市(2) 不明(2)
初めて参加した(27) 参加したことがある(45)

■総会記念講演(永松範子さんの講演)は、いかがでしたか？

- ・先生のお話を聞かせていただくのは2回目でしたが、どのエピソードも指導員としての心がまえも共感できる事ばかりでした。また、このお話を思い返しながら、日々の保育に努めたいと思います。
- ・専門家としての手だてを考え合いながら、やっていくことに納得することでした。
- ・実経験をもとに楽しい講演でした。まだ経験不足なのですが、他の指導員と話をしながら勤めたいと思います。
- ・自分たちの児童クラブでも同じような事例があり、うなずく場面がありました。楽しいお話をたくさん聞くことができて、参加して良かったです。
- ・経験談も交えたお話しが、指導員としての振る舞い方を改めて考えさせられました。
- ・一番身近な場面からのお話を聞きながら、今の自分を振り返り、楽しく勉強させていただきましました。子ども同士仲間で育ち合う中で、見守りながら支援できるように頑張りたいと思います。
- ・あきず聞いた。迫力があつた。
- ・同じ子どもたちを見守る立場で話をいただいて、大変勉強になりました。
- ・支援員のあり方、役割、勉強になりました。
- ・次回も講演楽しみにしております。
- ・要点を資料にまとめていただいた上、それに添ってのお話しの組み立てがされていたため、とても聞きやすかったです。事例等具体的なイメージの沸きやすいお話しも交えていただき、講演会という形でありましたが、活きた研修の時間を過ごさせていただきました。
- ・学童の普段の姿がみえてくる内容で、とても参考になりました。(自分だけが悩んでいるんじゃない…と感じました)
- ・事例をあげたり、とてもわかりやすいし勉強になりました。明日からの仕事に即役立ちます。
- ・とても勉強になりました。うなずく事ばかりで時間があっという間に過ぎました。
- ・先生の実践をふまえたお話しが聞けて、とても勉強になりました。共感するところがあったり、学ぶことがあったり、明日からの仕事に生かしていこうと思います。今日はありがとうございました。
- ・自分のことばでのお話しが分かりやすかった。
- ・現場にすぐ役立つお話しが多く、とても勉強になりました。もっと指導員会を開き、子ども一人ひとりの対応を考えていきたいと思います。
- ・実践にいかした講演ですごく楽しかった。すぐ明日から活かせる、参考になります。
- ・まだ聞きたいくらい、よい講演でした。
- ・永松さんの体験談は、自分にもあてはまるものも多く、今後の参考になりました。
- ・今回講演会に参加したのは初めてでしたが、とても良い勉強になりました。はっと気づかされる事も多く、現場に帰って早速実践したいと思います。
- ・初めて永松先生の講演を聴かせていただきました。とても良いお話を聞くことができました。明日からの子どもとの指導に役立てていきたいと思います。
- ・実践のお話をおりまぜて、楽しく勉強できました。
- ・毎日の実践にそった話の内容で、わかりやく元気の出る講演でした。
- ・とても参考になりました。学童クラブと一緒に日々の生活を楽しむことだという意見に共感しました。指導、管理、禁止をするところではないということ。
- ・とても心が軽くなりました。まだ、まだ2年目ということで、学ぶことが多くとても勉強になりました。
- ・毎回楽しみにしています。今回も、実践の話なのでためになりました。明日からの保育に役立てたいと思います。
- ・保育実践のことを聞かせていただきましたが、実践の話が一番わかりやすいし、若手に一番心に響きます。(今まで、様々な講演会に参加しているなかで) 永松先生の声、話し方、内容、とても聞きやすかったです。
- ・とても明るく、永松先生の子どもたちへの愛情がとても感じられるお話しでした。子どもたちも、安心して学童に通っているのだらうなど、感じました。一度、保育の様子をうかがってみたいと思えるほど、楽しいエピソードでした。
- ・永松さん自身のエピソードも交えての話で、とても共感する部分もあり、楽しく聞くことができました。
- ・あっという間に時間が過ぎていました。日々の生活(学童クラブ)に役立つ話や抱えている問題についての解決策

のヒント等、沢山ありとても勉強になりました。明日からの子どもたちのかかわりの中で役立てていこうと思います。有り難うございました。

- ・バイタリティーあふれる先生のお話し、とても楽しく考えさせられる内容も多く、全てを伝えることは難しいですが、同僚にも話しを伝えようと思います。
- ・毎日バタバタする中での学童保育ですが、これまで自分なりにとりくんできました。永松先生のお話しひとつひとつが「そうそう、そんなことある!!」「そうかあー。」と同感したり、反省したりとものすごくわかりやすかったです。明日から、日々、楽しい学童保育をめざし、悩み、話し合い、とりくみたいと思います。
- ・わかりやすく、楽しい話しでした。
- ・具体的なお話しが多く、とても興味深く聞くことができました。日々の自分の仕事の姿も、改めて振り返ることができました。ありがとうございました。
- ・毎日の実体験を交えて、指導員としての考え方やあり方等をお話していただいたので、自分に置き換えて話しが聴けたのであつという間だった。ハッとしたり、同じだなと思うことで、これで良い（というのは少し違うが）と自信になりました（反面、モーレツに反省もした）。
- ・講演会、とても勉強になりました。自分の指導員（支援員）として、改めて反省させられることが多かったです。子どもたちが、学童に楽しく帰ってこられるよう、また楽しく過ごすことができるよう、これからも勉強していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・実際に現場の指導員をされているので、お話しに迫力がありました。ありがとうございました。
- ・楽しく眠らずに最後まで拝聴しました。私は、小・中学校で長年勤務して、2年前に学童に出会いました。他の指導員は無資格者ばかりで研修意欲は……？ 8年も勤務していて、保育の資格をとる努力もしていない主任ほか、少しあせります。
- ・ためになる話しばかりでした。また聞きたいです。
- ・指導員を長くされてみえた方で、大変参考になりました。
- ・実践に基づくお話し、うなづいたり、ドキッと反省させられたりしました。指導員ではなく支援員という言葉の意味をよく考えつつ、今後の仕事に生かせたらいいなと思います。
- ・日頃の指導員としての実践をたくさんお聞きし、うなづくことばかりでした。子どもをはさんでの保護者との関わり方、子どもたちの関係、自然体で色々感じ、自分の思いも声に出して、明日ががんばろうと思いました。
- ・具体的なエピソードを交えてのお話しが、とても楽しくて参考になりました。
- ・事例を交えながらのお話し、とてもわかりやすく「うんうん そうそう」と思うことがたくさんありました。
- ・専門性を高めるため、学びが大切だと実感しました。研修会、講演会にもこれから参加したいと思います。今日、聴くことができてよかったです。ありがとうございました。
- ・前回とても勉強になったので、今日は楽しみに参加しました。すごく良かったです。
- ・ご自分の体験をもとに進められたお話しで、とても興味深く聞くことができました。
- ・実践に基づくもので、大変参考になりました。
- ・現場のはなしが多く大変参考になった。
- ・長年の経験の話しが聞けて、参考になりました。子どもの叱り方や関係、保護者との連携など考えさせられました。
- ・とても参考になりました。
- ・永松先生のお話の中には、私たちのクラブの中にも日常ある場面でした。片づけが出来ていないと「はい、没収」です。でも、子どもたちは没収された物、なきやないで違う遊びをするんですよね。困った場面、決めごとは、子どもたちと良く話し合うことにしたいと思います。
- ・なんとなくルールだから、していることが多く、しっかり考えたことがなかったなと思いました。実践を通して気づいたことが聞けて良かったです。
- ・実践保育（経験）で共感する所がたくさんあり、とても勉強になりました。
- ・共感できる部分が多く、終始、関心を持って聞かせていただきました。
- ・指導員としての役割や子どもたちとの接し方など勉強になりました。
- ・とても大切なお話しをしてくださり、ありがとうございました。先生の話聞いて、一人ひとり子どもを見守るって言う言葉がすごく心に残りました。私も全体はみるけど、一人ひとりということを頭の中に入れながら、支援していきたいと思います。
- ・同じ指導員の立場で話してくださり、心に残ることが多くて、こうすればよかったと思うことが多かったです。父子家庭の話は、先生ならではであったが、心に伝わって、指導員とは何？ ということの答えが出てきて、共感しました。
- ・現場での実例を用いてくださっていて、とてもわかりやすい内容でした。とにかく、ずっと学んでいくことが、とても大切だと事だと改め感じました。学んだことをみんなとシェアできるように、自分なりの言葉で伝えてみたいです。

- ・学童保育で必要なことを現場のリアルな目線から話してくれたので、勉強になった。とても素敵な講義でした。また一つモチベーションが上がりました。ありがとうございました。
- ・支援員として心がけを改めて理解することができました。日々子どもと向き合い、日々勉強して保育の内容を向上させていくことの重要性を教えてもらいました。とても充実した研修（勉強会）となりました。
- ・経験豊富な話が聞けた。子どもとの過ごすことの重要性を認識した。
- ・実践したことからの話してわかりやすかった。子どもの生活の基盤や何を考えて支援すればいいのか、考えるものになった。
- ・体験談をお聞きしましたが、なかなかそこまで出来ないなーと感じました。
- ・現場の話が聞けてよかった。
- ・自分の保育のあり方をもう一度振り返ってみようと思いました。聞かせていただけてよかったです。
- ・とても元気があり、わかりやすい講演でした。現場での体験のお話しなど、今、私が対面している現実にとっても参考になりました。
- ・よかった。

■講演で印象に残ったことは、どんなことですか？

- ・共感できることがたくさんあり、学ぶことは指導員、自分にとって一番大切なことが感じました。
- ・考えるということ。
- ・講演の終盤で先生が指導員になりたての頃の話をお聴いて、自分もいま、子どもの目標達成にやっきになったり、けんかの仲裁などばかりになっています。先生のお話を思い出しながら、子どもと向き合えるようになりたいです。
- ・指導員同士の話し合いは大切ですね！
- ・子どもの管理員であってはならない！ということを感じるころが大きかったです。
- ・研修は、現場に活かしてこそ意味があり、実行して初めて仕事になる。
- ・いろんな意味で実行あるのみと思いました。
- ・指導、管理するのではなく、支援という観点からの子どもたちへの見守り。ルールや伝統をただ作り、守っていくのではなく、子どもたちの目線も含めて、意味や理由を考えることの必要性。現状の課題であると感じました。
- ・分かっている大人が都合で子どもを管理してしまうので、子どもに寄り添うことが大事ということを再確認しました。
- ・支援員とは、子どもが安心してたよることのできる存在だということ。
- ・先生の明るさとパワフルなところ。子どもたち、指導員とのかかわり。
- ・学び続けることが、子どもの前に立つ「資格」
- ・指導員のコミュニケーションが大切だと思いました。
- ・本当に真剣に向き合っているんだなと、感動しました。
- ・毎日の支援生活でまず自分が楽しみ、型にとらわれず、目線を合わす、叱るときは叱ってよし！！
- ・学童保育運営指針を見て、指導員同士で自己評価し合うという話を聞いて、自分も自己評価してみようと思いました。
- ・指導と支援のこと。
- ・支援員のチームワークの大切さ。また、子どもの困った事への手だてなど、実践していくことの大切さを感じました。実践こそ、保育が生きていくことを学びました。力強い、信頼される支援員となるよう努力していきたいと思う。
- ・指導員の姿は、子どもに見られている、私たちの言動が子どもに影響を与えていること、キモにめいじて毎日の仕事にがんばっていききたい。
- ・豊かな指導員（支援員）になりたいなあーという気持ちにさせていただき、ありがとうございました。
- ・地震を持ってない子どもが、学童にいてもいい、とてもすばらしいでした。
- ・子どもとの距離感、見守り、遊びの大切さ。
- ・「指導いうより支援する」そういう指導員をめざしていきたいです。
- ・父が手術、永松先生に、わが子をお願いされたこと。シングルマザーの話（自分もシングルマザーなので）
- ・子どもたちとの関係は、時間ですきあがるものではないと、知ることができました。子どもたちがもっと安心して頼ることのできる指導員をめざしていきたいです。
- ・見守ると放置は違うということ。指導員同士のチームワークを大切に、たくさん話をするということ。自信を持っていない子でも、学童に来ていいんだよと思えるような学童にすること。
- ・指導員が管理しやすいルール——本当に子どものためのものか、考えていきたいです。
- ・具体的なお話しも「日本の学童はいく」も、今後とも活用させていただきたいと思います。ありがとうございました。

- ・学童保育のあり方を考えさせられました。もっと色々な話しが聞きたいです。
- ・めんどくさくても、自分が伝えたいことは子どもに伝える。(なんで、片付けないといけないのか、なんで、そういう言い方をしてはいけないのか、なんで、仲間はづれをしてはいけないのか) 等々、きちんと伝えられる大人、指導員でありたいと思いました。
- ・たくさんある。常々指導員の立場について、自分の中でいくつか疑問に感じていたので、スッキリした部分(他のクラブでの様子を知る機会があまりなく、比較することが無かった)ができたので良かった。
- ・見えるところだけで、判断してしまうことです。見えないところで、頑張っているところも気づいてあげたいと思いました。自信がなくても、学童が楽しいと思える場所、楽しいと思える場所を考えていきたいです。
- ・勉強し続ける→現場で活かすことが大切
- ・受け入れやすい話ばかりでした。時には、耳に痛いことも話してください。
- ・あまり決めごとをしない！！
- ・私たちは「管理人」ではない、ということ。「input」するだけではない、「output」することが大切だ、ということ。「クレーム」は考え直す、見直すチャンスなんだということ。
- ・ピンチにおちいった時(保護者が)頼るのは親でも、学校でも児童相談所でもなく、学童保育の指導員だという話しは、この仕事の重要性を改めて知るきっかけになりました。
- ・「大人の都合でルールをつくり、子どもを管理しない」。そちら側へ少し傾いていたかなと思いました。面倒くさがらず、子どもたちと話しをすることが大事だと改めて思いました。
- ・どういう原因でそうなったのか、その原因にはたらきかける、大切なことだと思います。心に留めておきます。
- ・私たちは管理人ではない。子どもに保護者に、一人の人としてきちんとむかいあって、心と脳を使ってかわりあっていくことが大切だと思いました。
- ・一つ一つに丁寧に向き合うことの大切さを思った。
- ・結局は人間性、面倒を見ているようで見られている。
- ・学童の子どもたちとの関係などもそうなのですが、指導員同士の話し合いなども密にしているんだな、と感心しました。
- ・大人にとって都合のよいルールで、子どもを管理などしないようにする。子どもたちがクラブでの居場所をみつけてあげる。
- ・私も、2度ほど保育を放棄したことがあります。
- ・しっかり話し合うことの大切さ。チームワークの大切さの意味を改めて考えさせられました。
- ・保護者との信頼関係
- ・指導員のチームワークが必要である。子どもが安心して頼ることのできる存在になれるよう心がけが必要である。
- ・永松先生の話がとても良かったです。
- ・子どもが安心して頼ることのできる存在になれるよう心がけるということを大切にしていきたいと思います。自分のことを分かってくれる人がいると言うことが大切だと、話されたことです。専門性を高めて行けるように、学習、実践していきたいと思います。
- ・「大人にとって都合のよいルールで子どもを管理しない」。大人が楽をするためにルールを作らない！ 子ども目線で子どもを交えてルールをつくってみる。
- ・outputの重要性！！ 何をするにも、具体的な理由が大事！！
- ・「自分(子ども)の事をわかってあげられる人」になれるように！！ この言葉は指導員(支援員)としての基本だと思う。心がけて頑張りたいと思う。
- ・子どもとの関わりが退所後も続くケースがある。
- ・何もできなくてもここにいていいと思える子どももいることが、当たり前になるようになったらいいな。
- ・生の声が聞けてよかった。
- ・子どもを管理するのではなく、一つひとつの問題にきちんと向き合う、という言葉が印象的でした。
- ・子どもたちが安心して、どんな子でも学童で生き生きと過ごせる事が大事だということを知りました。
- ・常に勉強。古いやり方にこだわらない。

■いま、学童保育(放課後児童クラブ)で困っていること、悩んでいること(課題)はありませんか？

- ・保護者との連絡。困った子、行動をどう伝えたら良いか。
- ・雨の日の過ごし方。気になる子どもの対応。
- ・支援員の自由で、必要に合わせて、もっとミーティングを開催したい。
- ・生徒たちのまとまりについて
- ・クラブの面積が少ない。

- ・居室が狭いこと。
- ・どこまで関わるべきか！？で、代表の方針と異なり、個人的に関わってしまう自分がいます。
- ・常勤は一人もいなし、パートで週に2～3回ずつの職員が毎日ぐるぐる入れ替わり、各人が個々のやり方で指導しているので徹底されない。この人はOKで、この人ダメというようなところが、とてもやりにくいです。子ども職員によって態度が変わるのも困っています。
- ・指導員同士で話し合いして、方針等決めたことに関して、部外者（指導員外からの）思いつきの発言や干渉に振り回される。
- ・言葉づかいの問題
- ・3年以上の利用者が少ない。
- ・子どもの人数に対して、指導員の人数が足りなくて困っています。全員、一人ひとりに目が届かないこともあったりします。
- ・子どもとの関わり、実践の中でのエピソードを聞きたいです。対応する中での引き出しを増やしたいです。
- ・予算の関係で、正採用の職員が雇用できないこと。
- ・保護者会に出席する保護者が年々少なくなってきて、出席者はいつも同じ顔ぶれで困っています。
- ・協議会を作れないこと。
- ・学童の子どもの人数が増えて、部屋が狭いことで、子どもたちのトラブルが多い。（ぶつかって、ケンカになる）
- ・急に利用児童数が増えて、対応が大変です。補助の必要な児童も増えているので、正しい知識、対応の仕方などを学びたいです。
- ・日々様々な事で悩んでいますが、本日の講演でかなり悩みの度合いが変わりました。
- ・発達障害の子どもをたくさん引き受けているが、補助申請しても市の決済がなくて、なかなか通っていかない。何度も担当者と話すが最後は、「上の決済です」となってしまう。小学校によって学童への連絡等全く違うので困っている。
- ・言葉使い。片づけをさせる（してほしい）時の声かけの仕方。
- ・気になる子への対応ということについて
- ・仕事を始めて2ヶ月なので、今の子どもとの関わりがとても難しいです。地道に信頼関係をつくりつつ、子どもにとって安心して過ごせるようにしたいです。女子同士の言葉使いがきついのが悩みです。どう指導したらよくなるのか？
- ・保育料を払えない家庭がある。